



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 大研医器株式会社

コード番号 7775 URL <http://www.daiken-iki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 圭一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 大浜 正彦

TEL 06-6231-9917

四半期報告書提出予定日 平成23年11月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,103	4.7	435	△8.5	439	△5.1	68	△74.3
23年3月期第2四半期	2,963	8.7	475	24.2	463	23.8	268	26.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.34	9.21
23年3月期第2四半期	36.63	35.96

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,394	4,060	54.9
23年3月期	7,861	4,149	52.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,057百万円 23年3月期 4,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	23.00	23.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	12.1	1,190	22.1	1,120	17.7	474	△14.6	64.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	7,960,000 株	23年3月期	7,960,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	575,020 株	23年3月期	585,020 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	7,377,598 株	23年3月期2Q	7,319,833 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により輸出や個人消費が大幅に落ち込みましたが、サプライチェーンの復旧が急速に進んだことや地上デジタル放送への移行による駆け込み需要等により、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、欧米諸国を中心とした海外経済の悪化や円高等による景気の下振れリスクは払拭されず、先行き不透明な状況が続いております。

また、医療機器を取り巻く事業環境は、国による医療費抑制政策が進められていることに加え、国内外の電機メーカーを中心とした異業種からの新規参入も相次いでいることから、企業間競争もより厳しさを増してきており、引き続き業界を取り巻く経営環境は厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社は高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期累計期間の経営成績の分析は次のとおりであります。

① 売上高

売上高は3,103百万円(前年同期比4.7%増)となりました。これは、主力のフィットフィックス関連では、とりわけ病棟用の吸引器であるキューインポットが好調に推移しました。シリンジェクター関連では、前期末の一時的な需要増加の反動の影響があったものの、特定保険医療材料であるPCAセットが堅調に推移したこと等によるものです。

② 営業利益

営業利益は435百万円(前年同期比8.5%減)となりました。これは、主として当期以降の売上拡大を図るために既存製品及び新規製品に係る販促費用が増加したこと、4月より活動を開始した低侵襲治療用具の研究開発拠点の設置に伴い固定費が増加したこと等によるものです。

③ 経常利益

経常利益は439百万円(前年同期比5.1%減)となりました。これは、主として営業利益が減少したこと等によるものです。

④ 四半期純利益

四半期純利益は68百万円(前年同期比74.3%減)となりました。これは、主として役員退職慰労金制度の廃止による役員退職慰労金の打ち切り支給に伴い、繰延税金資産を取り崩し、法人税等を185百万円計上したこと等によるものです。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産

流動資産は前事業年度末に比べて、256百万円減少し4,591百万円となりました。これは、主として製品が207百万円、原材料が93百万円、仕掛品が29百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が226百万円、受取手形及び売掛金が366百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前事業年度末に比べて、210百万円減少し2,803百万円となりました。これは、主として役員退職慰労金の打ち切り支給に伴い、繰延税金資産が185百万円減少したこと等によるものです。

② 負債

流動負債は前事業年度末に比べて、211百万円増加し2,636百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が29百万円、未払法人税等が35百万円、未払金の減少等により流動負債その他が117百万円それぞれ減少したものの、短期借入金が増加したこと等によるものです。

固定負債は前事業年度末に比べて、589百万円減少し698百万円となりました。これは、主として役員退職慰労引当金が459百万円、長期借入金が132百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

③ 純資産

純資産は前事業年度末に比べて、89百万円減少し4,060百万円となりました。これは、主として四半期純利益を68百万円計上したものの、繰越利益剰余金が剰余金の配当により162百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は当初の予想を下回る結果となりましたが、通期の業績につきましては、現時点では、平成23年3月期決算短信(平成23年5月13日公表)に記載いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○ 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,498,499	1,272,397
受取手形及び売掛金	2,370,902	2,004,202
製品	571,756	779,444
仕掛品	59,967	89,640
原材料	172,211	265,559
繰延税金資産	121,528	121,528
その他	55,036	60,526
貸倒引当金	△1,969	△1,969
流動資産合計	4,847,933	4,591,330
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	853,320	836,253
土地	1,197,677	1,197,677
その他(純額)	488,338	456,686
有形固定資産合計	2,539,336	2,490,617
無形固定資産	87,436	110,911
投資その他の資産		
投資有価証券	9,739	4,429
繰延税金資産	261,237	75,891
その他	141,777	147,013
貸倒引当金	△25,700	△25,700
投資その他の資産合計	387,055	201,633
固定資産合計	3,013,828	2,803,163
資産合計	7,861,762	7,394,493

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	935,917	946,269
短期借入金	100,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	683,420	653,758
未払法人税等	225,253	189,595
未払費用	248,359	232,132
その他	231,969	114,698
流動負債合計	2,424,919	2,636,454
固定負債		
長期借入金	744,928	612,340
退職給付引当金	71,212	74,101
役員退職慰労引当金	459,375	—
その他	11,587	11,596
固定負債合計	1,287,102	698,037
負債合計	3,712,022	3,334,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	495,875	495,875
資本剰余金	422,549	422,959
利益剰余金	3,371,976	3,278,632
自己株式	△141,604	△139,184
株主資本合計	4,148,796	4,058,282
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△382	△567
評価・換算差額等合計	△382	△567
新株予約権	1,326	2,286
純資産合計	4,149,739	4,060,001
負債純資産合計	7,861,762	7,394,493

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,963,327	3,103,770
売上原価	1,531,851	1,573,180
売上総利益	1,431,475	1,530,589
販売費及び一般管理費	955,755	1,095,358
営業利益	475,720	435,231
営業外収益		
受取利息	221	155
受取配当金	106	123
役員退職慰労引当金戻入額	—	10,333
その他	2,402	1,876
営業外収益合計	2,730	12,488
営業外費用		
支払利息	7,694	6,984
株式公開費用	4,952	—
その他	2,646	1,149
営業外費用合計	15,293	8,134
経常利益	463,157	439,585
特別利益		
固定資産売却益	390	—
貸倒引当金戻入額	1,219	—
特別利益合計	1,610	—
特別損失		
固定資産除却損	16	3,741
投資有価証券売却損	—	696
特別損失合計	16	4,437
税引前四半期純利益	464,751	435,147
法人税等	196,603	366,241
四半期純利益	268,147	68,905

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	464,751	435,147
減価償却費	156,172	135,493
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,383	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,774	2,889
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	55	△459,375
受取利息及び受取配当金	△327	△278
支払利息	7,694	6,984
株式公開費用	4,952	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	696
固定資産売却損益(△は益)	△390	—
固定資産除却損	16	3,741
売上債権の増減額(△は増加)	11,609	368,612
たな卸資産の増減額(△は増加)	17,414	△330,708
仕入債務の増減額(△は減少)	58,338	33,338
未払金の増減額(△は減少)	△36,735	△61,572
未払費用の増減額(△は減少)	633	△16,226
その他	△12,858	△34,728
小計	671,717	84,013
利息及び配当金の受取額	223	182
利息の支払額	△7,746	△7,034
法人税等の支払額	△192,021	△218,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	472,172	△141,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△145,114	△138,265
有形固定資産の売却による収入	468	—
無形固定資産の取得による支出	—	△29,597
投資有価証券の売却による収入	—	4,303
その他	606	△627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,039	△164,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	430,000	400,000
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△423,640	△262,250
社債の償還による支出	△100,000	—
配当金の支払額	△122,850	△161,397
自己株式の処分による収入	18,961	2,830
株式公開費用の支払額	△4,952	—
その他	△194	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,676	79,182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	125,456	△226,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,153,266	1,498,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,278,722	1,272,397

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社の事業は、医療機器等の製造販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の製品群別に記載しております。

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績を製品群別に示すと、次のとおりであります。

製品群	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
フィットフィックス関連	1,074,837	120.7
シリンジェクター関連	473,482	120.5
電動ポンプ関連	45,668	83.1
手洗い設備関連	145,465	92.0
その他	92,126	89.4
合計	1,831,581	114.5

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当社は、見込生産を行っているため、該当事項はありません。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績を製品群別に示すと、次のとおりであります。

製品群	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
フィットフィックス関連	1,815,167	109.9
シリンジェクター関連	819,020	100.6
電動ポンプ関連	30,439	92.7
手洗い設備関連	291,048	92.9
その他	148,094	97.7
合計	3,103,770	104.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。